

## “違う”のは、いけないことですか？

2m近い体格と黒い肌、そして巨大なアフロヘア。ひと目でその人と分かる副島淳さんは、その容姿ゆえにいじめを受けていたことがあります。ですが、現在はその見た目を武器の一つにして芸能界で活躍中。

いじめをどのように乗り越えたのか？ さまざまなルーツを持つ人とどう関わるべきなのか？ 蒲田にゆかりのある副島さんに話を聞きました。

### 肌の色を「汚れた」と言われた

生まれたのは大田区蒲田です。当時は母と、母方の祖母と3人暮らし。母は働きに出ていたため、基本的に祖母と生活していました。保育園は楽しかったし、地域の人にもかわいがってもらったし、自分の容姿や境遇が気になることはまったくありませんでした。

その後、葛飾区そして都外に転校したのですが、2度目の転校先でいじめにあったことがきっかけで、肌の色、髪質、父親がいない家庭環境が気になりだしました。

殴る・蹴るといった身体的暴力もありましたが、いちばんきつかったのは言葉の暴力です。肌の色をなじられたり、分厚い唇を笑われたり……。ある時は「肌の色は落ちるだろ」と言われてデッキブラシで延々とこすられました。「これは汚れた」と。周りのみんなとは“違う”ことを初めて意識させられました。

いじめに対して、最初は抵抗していました。手を振りほどいたり「やめてよ!」と拒否したり。だけど子どものいじめって、反応すればするほど相手が喜んじゃう。どんどんエスカレートする。

そういう空気が分かってきて、小学5年生以降は抵抗をやめました。リアクションがないから「つまらないや」と思ったのか、いじめは少しずつ収まりました。いてもいなくてもどちらでもいい、空気のような存在になりましたね。卒業するまで誰とも関わることはなかったです。

### 逃げたら未来が明るくなった

転機になったのは、中学校でバスケットボール部に入ったこと。本当はサッカー部がよかったのですが、いじめっ子がたくさんいたので諦めました。

そこで、逃げるように決めたのがバスケ部でした。部員は別の小学校出身の子がほとんどで、先輩たちも優しくかった。練習も厳しくなかったし(笑)。バスケは未経験で、やりたかったわけではありませんでしたが、いじめからの逃げ場にしたかった。

2面へ続く



タレント  
副島

淳さん

副島淳さんのプロフィールは4面をご覧ください。



バスケットボールはチームスポーツだから周りとのコミュニケーションが大切。それまでは言葉の暴力への対処法が分からなくて、言い返さずに黙っていましたが、バスケット部に入ったことで「これからは言われたことに返してみよう」と心に決めました。例えば「お前、黒いな」に対して「日焼けサロンで寝ちゃった〜」と返す。そうしたらチームメイトが「おもしろい奴!」と反応してくれて。

翌年、新しく赴任してきた先生が顧問になると、地区大会ベスト4のチームにまで成長しました。僕は中心選手に抜擢されて、県選抜にも選ばれるようになりました。

すると、かつてのいじめっ子たちが「お前すごいな」と見る目を変えて。ちゃんと話してみたら彼らも実はいい奴で、一緒につるんでいたら、いつの間にか学校中の人気者になっていました。

中学卒業後は就職するつもりで1年生の時から就職ガイダンスに行っていました。バスケの推薦で高校へ行きました。大学にも行きました。コーチの紹介で映画に出る機会があって、それが芸能界へ進むきっかけになりました。バスケが人生を導いてくれたのです。

## “普通の日本人”として

芸能活動を始めても20代はまったく仕事がなかったです。95%がアルバイト、5%が芸能の仕事という感じでした。

少ない機会のなかで「これは!？」と思ったのが舞台でした。時代劇で熟練の役者さんたちが40分以上も引っ張った揚げ句、いざ登場した殿様が黒人という(笑)。そこでどっと笑いが起きて「もしかしたらギャップを仕事に生かせるのかな?」と気付かせてくれました。中学生時代にミックスルーツ、ブラックルーツをネタに変えてきたことと同じです。

ですが、僕のそういうスタンスを不快に感じる人がいることを知っています。「ルーツへの誇りがない」「知名度があるからネタにできる」などと言われることがあります。

僕の根っこは臆病です。だから、いじめから逃げました。最初は抵抗したし、言葉や暴力で戦う手段もありましたが、逃げることで生き抜きました。「戦っていかないと日本の差別はなくなる」。すごく分かります。ですが僕はビビりで小心者だから、それができませんでした。楽しく過ごす方法を考えるなかで見つけたのが“逃げる”こと。それが僕の戦い方でした。

モヤモヤする時は今でもありますよ。「なんで日本語できるの?」とか「黒人だから歌うまいよね?」とか言われて……。相手は話の入り口にしてはいるつもりかもしれませんが、モヤッとして、いい返しができないこともあります。

それでも会話していくことが必要だと思います。ルーツに気を遣われすぎたらコミュニケーションが成り立ちません。だんだんと社会がアップデートされて、肌の色が違って“普通の日本人”同士として「好きな食べ物は?」「音楽はどんな趣味?」のように話ができるのが理想です。



## 匿名だから話せることがある

最近、10代のミックスルーツの子と話すと、若者が悩む事柄は30年前から変わっていないなと感じます。SNSの発達によって嫌な思いをする機会が増えている印象さえあります。10歳当時の僕がタイムスリップしてきたら、生きていけないと思うぐらい過酷ですよ。

だからと言ってインターネットを悪者にする気はありません。逆に、SOSを発信することもできるし、多様な意見を目にすることもできる。そうして知恵や引き出しを増やせる強みがあります。

インターネットが持つ匿名性について、世間では誹謗中傷や炎上といったネガティブなイメージが先行しています。ですが、いい面もあります。僕は、匿名だからこそ悩みを打ち明けられた経験があるのです。

小学4年生のいちばんいじめがひどかった頃、「いのちの電話」に相談したことがあります。かけようと思ってから実際にダイヤルするまでかなり迷いましたが、いざ話してみると自分の素性を伝えなくていい、相手の顔も名前も分からないことで、親や先生に言えない悩みを素直に吐き出せました。

匿名は悪いことばかりではありません。そして、インターネットは国境を超える。今、小さい社会で生きていて、つらいことばかりだったとしても、ネットを開いたら思いを共有できる誰かと繋がる可能性があります。自分が居心地のよい場所を見つけてほしいです。

## “雑”なくらいがちょうどいい

講演活動のため学校へ行くと「ミックスルーツの子が増えたな」と感じます。ひとつの学校に十数人いることもありますね。僕が3年生まで過ごした小学校は1,000人規模でしたが、ミックスルーツは自分ひとりでした。現代の子どもたちにとって、僕のような存在は珍しくないのかもしれない。

逆に、僕より年齢が上の方には、ミックスルーツは「自分と違う人」と見られやすいのかもしれない。どう接すればいいかわからない、と。

真面目な話、ヒントは蒲田にあると思います。僕が幼い頃、祖母と商店街へ行くと肉屋さんが鶏肉をサービスしてくれたり、八百屋さんが大根1本を付け足してくれたり、かわいがってくれたのです。心の中では「お父さんがいなくてかわいそう」「ブラックルーツで大変そう」と思っていたのかもしれない。ですがむやみにプライベートに立ち入らず、ただ温かく接してくれた。人情味というか、雑な温かさというか(笑)。気を遣いすぎずにコミュニケーションを取るのは、現代社会にいちばん必要なものかもしれませんよね。

蒲田の人はフレンドリーで冗談が好き。そして雑に温かい。それらは学校教育や社会運動で身に付くものではなく、人々がずっと育んできた素晴らしい文化だと思います。ミックスルーツ、ブラックルーツに対しても同じように接してほしいです。ほんと、雑なくらいがちょうどいいのです。



# 世界人権宣言75周年

昭和23(1948)年12月10日にフランスのパリで行われた第3回国連総会で、基本的人権を確保するために「すべての人民とすべての国とが達成すべき共通の基準」として世界人権宣言が採択されました。

世界人権宣言は、全ての人々が持っている市民的、政治的、経済的、文化的分野にわたる多くの権利を内容とし、前文と30の条文から構成されています。

日本では、世界人権宣言が採択された12月10日の「人権デー」を最終日とする1週間を「人権週間」と定め、さまざまな人権啓発活動を展開しています。

平成28(2016)年に障害者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別解消推進法、令和元(2019)年にアイヌ施策推進法、令和5(2023)年にはLGBT理解増進法が施行されるなど、人権課題への取り組みも進められています。

他者の人権を侵害しないよう、また、自分自身が人権を侵害されないよう、今一度、世界人権宣言75周年という節目に、人権について考えてみませんか？



## 人権に関する相談窓口 ※相談日・時間などは、それぞれの相談先にご確認ください

相談内容	相談先	相談内容	相談先
人権全般	東京法務局 みんなの人権110番 東京都人権プラザ ☎ 0570-003-110 ☎ 6722-0124	障がい者	大森地域福祉課 調布地域福祉課 蒲田地域福祉課 糎谷・羽田地域福祉課 障害福祉課 東京都立中部総合精神保健福祉センター こころの電話相談 ☎ 5764-0657 FAX 5764-0659 ☎ 3726-2181 FAX 3726-5070 ☎ 5713-1504 FAX 5713-1509 ☎ 3743-4281 FAX 6423-8838 ☎ 5744-1700 FAX 5744-1555 ☎ 3302-7711
男女	東京法務局 女性の人権ホットライン 東京ウィメンズプラザ 男性のための悩み相談 女性のためのたんぼぼ相談 ☎ 0570-070-810 ☎ 3400-5313 ☎ 3766-6581	同和問題 (部落差別)	人権・男女平等推進課 ☎ 5744-1148 FAX 5744-1556
子ども	東京都品川児童相談所 (月～金曜、午前9時～午後5時) (上記以外の時間帯) 東京法務局 こどもの人権110番 東京都教育相談センター 東京都いじめ相談ホットライン 子ども家庭支援センター 子どもと家庭に関する相談窓口 虐待通報専用ダイヤル 教育センター 教育相談室 ☎ 3474-5442 FAX 3474-5596 ☎ 189 (児童相談所虐待対応ダイヤル) ☎ 0120-007-110 ☎ 0120-53-8288 ☎ 5753-7830 ☎ 5753-9924 ☎ 5748-1201 FAX 5748-1390	アイヌの人々	人権教育啓発推進センター アイヌの方々のための相談専用フリーダイヤル ☎ 0120-771-208
高齢者	大森地域福祉課 調布地域福祉課 蒲田地域福祉課 糎谷・羽田地域福祉課 高齢福祉課 ☎ 5764-0658 FAX 5764-0659 ☎ 3726-6031 FAX 3726-5070 ☎ 5713-1508 FAX 5713-1509 ☎ 3741-6525 FAX 6423-8838 ☎ 5744-1250 FAX 5744-1522	外国人	国際都市おおた協会 多言語相談窓口 東京法務局 外国語人権相談ダイヤル (英・中・ハングル・フィリピン・ポルトガル・ベトナム・ ネパール・スペイン・インドネシア・タイ語) ☎ 6424-4924 FAX 6424-4926 ☎ 0570-090911
障がい者	さぼーとぴあ(障がい者総合サポートセンター) 相談支援部門 大田区障害者虐待防止センター ☎ 5728-9433 ☎ 6303-8819	エイズ	東京都 HIV/エイズ電話相談 ☎ 3227-3335
		犯罪被害者	被害者支援都民センター 警視庁 犯罪被害者ホットライン ☎ 5287-3336 ☎ 3597-7830
		インターネット 被害	警視庁 サイバー犯罪相談窓口 ☎ 5805-1731
		セクハラ・ 労働問題	東京都ろうどう110番 ☎ 0570-00-6110
		多様な性	Tokyo LGBT相談 専門電話相談 ☎ 050-3647-1448
		ひとりで 悩んでいる人	東京都自殺相談ダイヤル ☎ 0570-087478

### 人権・身の上相談

秘密厳守

相談無料



人権侵害や家庭内・近隣との悩みごとなどについて、法務大臣から委嘱された人権擁護委員がお話を伺います。

- ▶実施日 第2・4火曜
- ▶受付時間 午後1時～2時30分
- ▶会場 区役所本庁舎2階
- ▶問合先 人権・男女平等推進課  
人権・男女平等推進担当  
☎ 5744-1148 FAX 5744-1556

### 地域の活動をご紹介します

大森海岸駅近くの芸者置屋「まつ乃家」のおかみ・栄太郎さんは、日本で唯一の女形芸者とされています。

栄太郎さんは、8歳頃から日本舞踊などの芸事を学び、先代のおかみだった母から23歳でおかみを継ぐことに。

現在は、花街であった大森海岸から大森新地の「大井海岸」を盛り上げるため、精力的に活動しています。

メディアでの出演やSNSでの活動などの影響で、海外のお客さん、女性のお客さんが増えているそうです。男性・女性というくくりではなく「栄太郎」としてお座敷に臨み、一期一会の出会い、人と人との関係性を大事にしている栄太郎さんの今後の活躍に注目です。



### 区立小・中学校人権啓発作品展

区立小・中学校の児童・生徒のポスター、標語、習字作品を展示します。

▶日時 12月1日(金)～8日(金)午前9時30分～午後5時  
※1日は午後1時から、8日は午後3時まで

▶会場 池上会館

▶問合せ 教育総務部指導課 ☎ 5744-1435 FAX 5744-1665



### 人権啓発パネル展

人権啓発を目的としたパネルを展示、パンフレットや啓発グッズを配布しています。

▶日時 12月4日(月)正午～15日(金)午後4時

▶会場 区役所本庁舎1階

▶問合せ 人権・男女平等推進課人権・男女平等推進担当  
☎ 5744-1148 FAX 5744-1556



### 企業の皆さんへ 公正な採用選考システムの確立を!

#### 「全国高等学校統一応募書類」を使用してください

令和6(2024)年3月高等学校卒業予定者の採用選考は9月16日から開始されています。選考にあたっては、応募者の基本的人権を尊重することはもちろん、適性・能力のみを採用基準とし、応募書類は「全国高等学校統一応募書類」を使用してください。適性・能力と関係のない「本籍・出身地」「家族状況」「思想・信条」などを把握することは、就職差別につながる恐れがあるため、応募書類に記載させる・面接時に尋ねるといったことがないようにしてください。

#### 「公正採用選考人権啓発推進員」を選任しましょう

東京労働局では、差別のない公正な採用選考システムの確立を図るため、従業員50人以上の事業所には公正採用選考人権啓発推進員を選任していただいております。毎年6月1日現在の選任状況を「公正採用選考人権啓発推進員選任状況報告」により、事業所所在地管轄のハローワークにご報告ください。



新規学卒についてはコチラ



公正な採用選考についてはコチラ

▶問合せ ハローワーク大森 ☎ 5493-8713

### 夜間人権ホットライン

相談専用

12月8日(金) 午後5時～8時

☎ 6722-0127

人権侵害や日常生活の法律問題について、弁護士が電話でご相談をお受けします。相談時間は1人10分程度です。費用は無料です。秘密は厳守します。

▶問合せ 東京都人権プラザ ☎ 6722-0124

### 東京都パートナーシップ宣誓制度

東京都パートナーシップ宣誓制度とは、パートナーシップ関係にあるお二人からの宣誓・届出を、都が受理したことを証明(受理証明書を交付)する制度です。

本制度は、多様な性への理解を深め、性的マイノリティのパートナーシップ関係にある方が、日常生活のさまざまな場面での手続きが円滑になるなど、暮らしやすい環境づくりにつなげることを目的としています。

▶問合せ 東京都総務局人権部企画課 ☎ 5388-2337

詳細はコチラ▶



### 今号に登場したタレント

#### 副島 淳(そえじま じゅん)

昭和59(1984)年、大田区蒲田生まれ。日本人の母とアフリカ系アメリカ人の父の間に生まれる。現在はNHK「あさイチ」リポーターやバラエティ番組などのタレント業のほか、舞台や映画の俳優として活躍中。11月に公開された北野武監督作「首」に黒人武士・弥助役で出演している。



#### 大田区 公式PRキャラクター 「はねぴよん」と 副島さん

撮影場所：  
大森ふるさとの浜辺公園

